

オオサンショウウオ

Andrias japonicus

サンショウウオ目 オオサンショウウオ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 準



両
生
類

生息地は二次林の渓流域で、成体はおもに夜間に活動し、サワガニや魚類などを食べる。成体の体長は60cmから1mに達するものがあり、現存する両生類の中では最大である。産卵期は8月下旬から9月上旬で、幼生は翌年の1～5月、溪流のよどみの落葉の中で成長する。生息地である宇佐郡院内町の岡川は、現在日本本土における南限域であるとともに、九州唯一の自然繁殖地である。周辺の森林が伐採されれば、生息環境の悪化により、絶滅の可能性が極めて高い。

(写真：佐藤真一 文：堀江道廣)

県内分布 宇佐郡(院内町)

分布域 本州(中部・近畿・中国地方)、九州(大分)